

企画展

武士の姿・ 武士の魂

2025年
1月28日(火)～
3月23日(日)

開館時間 | 10:00～17:00 (入館は16:30まで)

※金曜日は19:00まで開館 (入館は18:30まで)

休館日 | 毎週月曜日 (ただし2月24日(月)は開館)、2月25日(火)

入館料 | 一般1,000円、大学生・高校生 800円、中学生以下無料

※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方とその同伴者1名は無料

主催 | 公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

協力 | 株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、大成建設株式会社

前期 1月28日(火)～2月24日(月・休)

後期 2月26日(水)～3月23日(日)

上: 重要文化財《黄瀬川陣》安田靉彦 昭和15/16年(1940/41)

東京国立近代美術館蔵(部分)【後期展示】

下: 重要文化財《洞窟の頼朝》前田青邨 昭和4年(1929) 大倉集古館蔵(部分)

© Y. MAEDA & JASPAR, Tokyo, 2024 E5810

①②③: 《鷹図》曾我二直庵 江戸時代17世紀 個人蔵(12幅のうち、部分)【場面替えあり】

大倉集古館
OKURA MUSEUM OF ART

企画展

武士の姿・武士の魂



重要文化財《黄瀬川陣》安田靫彦 昭和15/16年(1940/41)東京国立近代美術館蔵【後期展示】



《赤絲威大鎧(複製)》平成2年(1990)(原品：平安時代12世紀)
千葉県立中央博物館 大多喜城分館蔵



《吉野山合戦》小山栄達 大正～昭和初期20世紀(株)喫茶サンキュー蔵【前期展示】

平安時代後期、武士が歴史の舞台上に上り、後に国を支配するにいたると、絵画に武士の姿が描かれるようになります。戦の様子を描く合戦図、武士の姿を描く武人肖像画などとともに、武力や権力を象徴するモチーフなども描かれました。

本展覧会第1章では、当館所蔵品の中でも異彩を放つ前田青郁《洞窟の頼朝》を筆頭に、江戸時代から昭和にかけて、武士の姿を描いた作品と、霊威をもち武士の魂として大切にされてきた甲冑や刀剣を展示し、時代ごとの表現をお楽しみいただきます。第2章では、武力や権力の象徴であり、威信財でもある鷹を描いた作品を取り上げ、鷹が武士の表象としてどのように描かれ、荘厳され、利用されたかを探ります。当館所蔵品を中心に様々な武威の表現をご覧ください。



《鷹狩図》狩野典信 江戸時代18世紀
東京国立博物館蔵(3幅対のうち)
Image: TNM Image Archives【後期展示】



④

《鷹図》
曾我二直庵
江戸時代17世紀
個人蔵(12幅のうち)
【場面替えあり】

講演会「頼朝像にみる鎧・兜」

【日時】3月1日(土) 14:00から(約1時間30分)

【講師】池田宏氏(東京国立博物館 名誉館員)

【会場】大倉集古館 地下1階ホール 【聴講料】無料(ただし入場には入館券が必要です)

【定員】60人(事前申込制、先着順) 【お申込み】大倉集古館

【TEL】03-5575-5711(月～金10:00～17:00)

大倉集古館の歴史と建物(スライドトーク&建物ツアー)

【日時】2月21日(金) 14:00から(約1時間30分) 【担当】四宮美帆子(当館主任学芸員)

【会場】大倉集古館 地下1階ホール、展示室、屋外

【聴講料】無料(ただし入場には入館券が必要です)

【定員】40人(事前申込制、先着順) 【お申込み】大倉集古館

【TEL】03-5575-5711(月～金10:00～17:00)

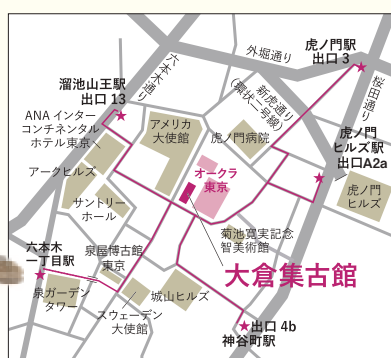
担当学芸員によるギャラリートーク

【日時】2月4日(火)、2月14日(金)、3月7日(金)、各14:00から(約1時間)

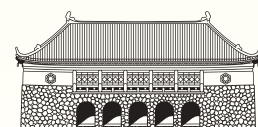
【担当】四宮美帆子(当館主任学芸員) 【会場】大倉集古館 展示室

【お申込み】不要(ただし入場には入館券が必要です)

【東京メトロ南北線】……六本木一丁目駅中央改札口(泉ガーデン方面)より5分
【東京メトロ日比谷線】……神谷町駅4b出口より7分
【東京メトロ日比谷線】……虎ノ門ヒルズ駅A2a出口より8分
【東京メトロ銀座線・南北線】……溜池山王駅13番出口より10分
【東京メトロ銀座線】……虎ノ門駅3番出口より10分



〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-10-3(オークラ 東京前)
[TEL] 03-5575-5711
<https://www.shukokan.org/>



OKURA MUSEUM OF ART

公益財団法人 大倉文化財団

大倉集古館